

危機管理体制の確立と産業の振興

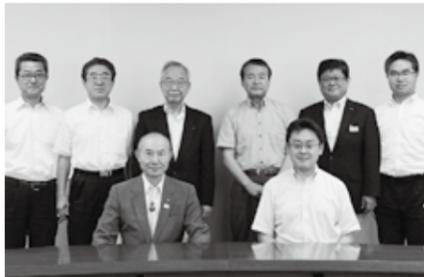
総務経済委員会

総務経済委員会は、市の総合な政策や総務、市民文化、商工業、危機管理、防災、交通政策を始め、他の常任委員会が担当しない事項を審査します。

◆今年度の活動テーマ

- ・危機管理の取り組みについて
- ・産業の振興について
- ・公共施設管理のあり方について

常任委員会の任期が2年であるので、昨年に続き右記の3項目を重点テーマとしました。



(後列左から)加賀谷委員 磯野委員 田村委員
猪股委員 太田委員 西塚委員
(前列)中村委員長 三浦副委員長

昨今の気

象変動などの影響により、狭山市においても大雨による不老川の氾濫で床上浸水、農作物などの被害



産業労働センターを視察

が発生しています。そうした事に対応できる早期の危機管理体制の確立が必要です。

大手自動車会社の移転問題は、狭山市財政のみならず、さまざまな分野への影響が考えられます。中小企業への支援、狭山茶や若手農業者の育成・支援、商業の活性化など市内産業の振興がますます、重要になってきています。

人口の減少は深刻であり、現在の公共施設を、そのまま将来的に維持する事は困難である事が見込まれています。

公共施設の管理のあり方について綿密な調査・研究を行い、市政に反映できる委員会活動をしてまいります。

教育・福祉の増進を目指して

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、子育てや、学校、スポーツのこと、介護や障害者の施策など、教育・健康・福祉の政策や条例に関する事項を審査します。

◆今年度の活動テーマ

- ・仕事と子育ての両立支援
- ・健康長寿の推進と支援
- ・学校の規模と配置の適正化
- ・必要なサービスを保ちながらの建物保全と施設再編



(後列左から)新良委員 齋藤委員 大沢委員
内藤委員 笹本委員
(前列)金子委員長 矢馳副委員長

狭山市

では、「第4次狭山市総合計画」を上位計画とし、平成29年3月に「狭山市公共施設等総合



委員会での審議の様子

管理計画」を、平成30年4月に「狭山市公共施設再編計画」を策定しております。

二つの計画の基本原則では「公共施設の統廃合等を計画的に実施し、40年間で延床面積を30%削減します」とあり、対象には教育・福祉施設も多く含まれております。施設の維持管理をしっかりと見据え、必要なサービスを保ちながらの建物保全と施設再編を考えていきます。

また、子育ての環境整備、高齢者の健康長寿、学校の適正規模など、今年度のテーマに沿って専門的な視点で審査し、教育・福祉の増進のため全力で取り組みます。

安全・安心なまちづくりの推進

建設環境委員会

建設環境委員会では、省エネルギー・地球温暖化防止、ごみ減量や空き家対策、川や森林の保全、動物愛護などの環境に関する事、駅周辺整備などの都市基盤、道路や橋梁、上下水道などのインフラ整備、公営住宅の建設・管理に関する事項などを審査します。

◆今年度の活動テーマ

- ・省エネルギー型まちづくりを推進
- ・快適で安全安心なまちづくり



(後列左から)土方委員 町田委員 大島委員
高橋委員 望月委員
(前列)綿貫委員長 千葉副委員長

昨年度は、環境モデル都市を視察し、市内のNPO法人と温暖化対策などについて意見交換を行いました。引き続き、省エネルギー対策と環境保全について調査します。

入曽駅周辺整備事業は、地域住民にとつて、安全性や利便性の向上が見込め、道路整備や駅前広場の創出、民間施設立地の促進は、新たな地域活性化が期待できます。事業計画の策定が予定されている今年度は、しっかりと調査していきます。

空き家対策は、実効性のある取り組みが必要です。昨年度に制定された条例のもと設置される空き家対策協議会の運営状況を調査します。

公営住宅

においては、現状を把握し、時代とともに変化する公営住宅のありかたを考察し、より良い運営が行えるよう調査していきます。



廃止される市道の説明を受け、視察

よりわかりやすい、議会を目指して

議会運営委員会

議会運営委員会は、各会派から選出された委員と、3つの常任委員会の委員長で構成されています。これまで「より開かれた市議会」を目指して、一般質問の選択制導入、手話通訳の派遣規定を設けるなどの改革を行ってきました。

今年度は、議会ICTの推進として、特に「議場モニターの活用」に向けた準備を進めています。議員が一般質問を行う際に使う資料について、これまで紙やボードなどを使ってきましたが、細かなグラフや現場の写真などは、モニターを使ったほうがより鮮明に表示できることから、平成30年度中の実施を目指して運用ルールなどを協議していきます。

また、毎年夏休みに開催される「子ども・議会体験プログラム」は、議会運営委員会を中心に行っています。市内の小学5・6年生を対象に市議会議員としての仕事を体験してみるという企画であり、この



実際の議場を使用して、モニター活用を検討

委員長	大沢 えみ子
副委員長	金子 広和
委員	内藤 光雄
委員	笹本 英輔
委員	三浦 和也
委員	綿貫 伸子
委員	中村 昌義
委員	町田 弘